

松元地域での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時:平成24年10月2日(火)19:00~20:00

場所:松元公民館

平成24年11月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月2日(火)19:00~20:00

場所:松元公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	石谷校区公民館運営審議会 男性	<p>① 市営高塚住宅跡地が更地になっており、今年の3月に「公園を整備してほしい」との要望書を提出しているが、実現の可能性はあるのか。 石谷校区としては、災害時の避難場所にもなり、住民の憩いの場にもなると考えているので、是非お願いしたい。</p>	<p>① 今、市有財産利活用検討委員会において、その実施計画を策定することとしておりますが、お話のあったような利点等もあり、公園設置について検討していく必要があると思っておりますので、早急に対応いたします。</p>	建設局	<p>現在、当該地区には、公園が設置されていないことから、高塚住宅跡地に公園を設置することについて、検討していく必要があると考えております。</p>
		<p>② 各地で高齢化が進んでおり、高齢者が色々な施設に出入りする機会が増えてきた。 地域の拠点となる公民館等にはAED（自動体外式除細動器）が設置されている。私共の地域の公民館は、お達者クラブや老人クラブの方々が施設を利用して集う機会が多くなっているが、不測の事態が発生した時に救命器具が無いとそういったこともできない。 市の助成制度を考えていただき、末端の公民館にも設置してほしい。</p>	<p>② AEDは、各公共施設等にも配備をしています。地域で安心して安全に、健やかに暮らせることが、市民にも行政にとっても重要なことだと思います。 AEDの配置については、消防局や市民局、健康福祉局といったそれぞれの所管部局に関係がありますが、全ての施設に配備をするのはなかなか困難な面があるかと思えます。 多くの方々が不定期に集まる場所については、設置できないかということを検討させてみたいと思います。これまでも計画的に取り組んできていますので、それらを集約しながら対応していきたいと思えます。</p>	市民局 健康福祉局 消防局	<p>(市民局) AEDの設置については、20年度に町内会長を対象とした研修会時にアンケートを実施したところ、18.8%(63団体)の方が「必要性を感じる」と回答があったところです。しかしながら、AEDは命に関わる機器であり、設置後の運用が重要であると考えており、バッテリーの交換など機器の維持管理やその運用方法などの課題もあることから、設置支援は行っていないところです。</p> <p>(健康福祉局) 21年度から、多くの方々が集まる行事に対して、AEDの貸出制度を始めております。貸出は無料で、貸出場所は、保健所の生活衛生課です。 また、貸出期間は、1回の行事当たり最長7日間となっております。多くの方々が集まる行事の際には、当該制度を活用していただきたいと考えております。</p> <p>(消防局) 消防局では、AEDの使用法を含めた応急手当講習を消防総合訓練研修センターにおいて毎月実施するなど、応急手当普及啓発に取り組んでいるところでございます。 今後も、より多くの方々に受講していただけるよう、AEDを含めた応急手当の重要性について、周知広報を図ってまいりたいと考えております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月2日(火)19:00~20:00

場所:松元公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	松元地域女性団体連絡会 女性	③ 学校支援ボランティア事業を拡大してほしい。	③ 現在、松元の春山小・石谷小を含む61小学校で学校支援ボランティア事業を実施しています。この中で「学習支援」や「環境整備」、「登下校時の安全指導」等の活動や、地域の特色を生かした農業体験活動等を行っており、地域の皆様にもご協力をいただいています。 児童と地域の方々との交流がこれまで以上に深まり、青少年の健全育成や高齢者の生きがいづくり、安心安全なまちづくり等に一定の成果があったものと考えておりますので、今後、段階的に拡大していきたいと思っています。	教育委員会	市長回答のとおり
		④ 生涯学習の実現のため、鹿児島市は「市民一人一芸・一学習・一スポーツ」というモットーを掲げているが、この中に「ボランティア」を挿入してはどうか。	④ 本市では、市民の誰もが共に学び、育ち、生きていくことができる社会を目指して、皆様の学習成果を学校や地域社会に根ざしたボランティア活動として生かしていくために、様々な活動を行っています。 その中で、本市がモットーとしている「市民一人一芸・一学習・一スポーツ」に「ボランティア」を加えることにつきましては、たいへん意義のあることではないかと思っておりますので、市民の代表の方々に組織されております生涯学習推進懇話会の意見をいただきながら、検討してまいりたいと思っております。	教育委員会	生涯学習推進懇話会におきまして、学習成果の活用やボランティアの育成等について、これまでも委員から意見をいただいていることから、今回のご意見も踏まえ、同懇話会において検討してまいりたいと考えております。
		⑤ 子ども手当(児童手当)の支給の仕方について、給食費や学級費等の未納対策とすることの市の考えを教えてください。 ※子ども手当 H22.4~H24.3 ※児童手当 H24.4~	⑤ 23年10月より、保護者からの申し出があった場合に、子ども手当から給食費や教材費、保育料等を直接徴収することが可能となりました。 鹿児島市においても、実施の可否やその方法等を検討してまいりましたが、未納対策の一環として保護者の方々の申し出によりまして、直接徴収ができるよう仕組みを整え、既に24年6月の児童手当から給食費や教材費の徴収を実施しております。	健康福祉局	24年6月の児童手当より、保護者からの申し出により給食費や教材費の徴収を実施しております。 今後も引き続き、申し出による児童手当からの給食費等の徴収を実施します。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月2日(火)19:00~20:00

場所:松元公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	松元地域まちづくりワークショップ 男性	<p>⑥ JR上伊集院駅の駅前にあるロータリーが非常に小さく、車が3台ほどしか停まらない。朝夕、特に雨の日は、通学する学生を送迎する車両が多く、県道まで並んで渋滞を引き起こしている。 歩行者や送迎車両の安全対策という意味で、ロータリーを整備してほしい。</p>	<p>⑥ お話のあったことについては私共も伺っています。 そのような実態も踏まえ、ロータリーの管理者であるJR九州へ直接赴いて要望しておりますが、まだ対策を講じていただけておりませんので、今後も機会あるたびに鹿児島支社や福岡の本社に赴いて、要望していきたいと思っております。</p>	企画財政局	市長回答のとおり
		<p>⑦ JR薩摩松元駅は、松元の先輩たちがボランティアで造った駅だが、道路より非常に高いところにあるので、エレベーターを設置するなど、車椅子利用者や高齢者に対する配慮が必要ではないか。 また、松陽台から松元小学校へ通学する児童の安全確保が課題である。</p>	<p>⑦ 駅が道路から約10メートルの高さにあり、階段も急傾斜であることから、高齢者や障害者の立場から、エレベーターやエスカレーターを設置してほしいというご要望は、再三いただいておりますので、この点についてもJR九州に強く要望を行っております。 しかしながら、未だ整備がなされておられませんので、今後もJR九州にしっかりとお伝えしていきたいと思っております。</p>	企画財政局 教育委員会	<p>(企画財政局) エレベーター等の設置については、市長回答のとおり</p> <p>(教育委員会) 松元小学校では、薩摩松元駅を利用する際、高学年の児童が低学年の手をつないで階段を上り下りするよう指導するとともに、PTAと連携しながら通学時の見守りを強化し、児童生徒の安全確保に努めているところであります。 また、駅の安全対策につきましては、学校や家庭、地域、関係機関からなる児童安全確保対策会議を通してJR九州に要望を行っており、現在では、混雑する下校時に駅員が配置されるなど、一部改善も見られます。 今後も、児童の安全確保に向け、学校や関係機関等と更に連携しながら指導に努めてまいりたいと考えております。</p>
		<p>⑧ いつも言っていることだが、JR薩摩松元駅から中学校に通じる県道の改良を早めにしてほしい。</p>	<p>⑧ 県道の整備については、鹿児島県・鹿児島市意見交換会の場で、県の方にしっかりと整備されるように要請しています。 今後も、県に再三にわたって要望してまいりたいと思っておりますし、そのことで、通学路の確保や生徒の安全な通学にしっかりと取り組めるものと思っております。</p>	建設局	市長回答のとおり ※県道松元川辺線(上谷口地区)

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月2日(火)19:00~20:00

場所:松元公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	かごしま市商工会松元支部 男性	⑨ 四元工業団地を工業団地として活用するには、多額の費用がかかるということで、旧松元町の時代から計画はあったが、現在も整備は難しいと伺っている。 そこで、昨今、話題になっているメガソーラーを誘致してはどうか。環境政策に取り組まれている森市長の公約にも適うのではないかと。	⑨ 四元工業団地は旧松元町時代に開発許可が出たものですが、造成に多額の費用がかかることから、確実な立地企業が見つかるまで造成を見合わせるようになったと伺っています。 今後、工業団地として活用する場合も、団地造成に多額の経費を要すると思いますし、水道等のインフラ整備も必要となることや、我が国の経済状況等を踏まえると、なかなか工業団地としての活用は難しいのではないかと伺っています。 鹿児島市は環境リーディングシティとして、環境に特化したまちづくりを進めています。メガソーラーを設置する場合でも、造成に多額の費用がかかります。庁内でも色々と検討しましたが、現在のところは、環境保全用地としてそのまま残していくことが適当ではないかと考えています。	経済局	今後も、森林として適切な維持管理を図っていきますが、他に有効な利用が見込まれる場合は庁内で検討をしてみたい。
5	東昌校区公民館運営審議会 男性	⑩ 児童・生徒の通学路安全対策について、東昌校区には県道35号が通っており、小学校と中学校のスクールゾーンが設けられているが、中学校の通学路の道幅が狭くカーブも多いため、危険である。 8月末に一斉点検を行い、危険箇所について県とも協議を行った。 毎年、県と市に要望書を出しているが、なかなか改善されない。	⑩ 児童・生徒の通学路確保は重要な対策です。安心安全なまちづくりを進める上でも基本的な取組だと思えます。 本市では、登校児童の横断時の保護誘導などで、児童通学保護員の方々に活躍いただき、児童の安全確保を図っています。 また、県道の拡幅や歩道設置等につきましては、再三、県の方に要望しており、一部の区間で取組が進められていますが、まだまだ全体的な整備がなされていないところですので、鹿児島県・鹿児島市意見交換会を含め、あらゆる機会を通じて県に要望していきたいと思えます。	市民局 教育委員会	(市民局) 県道35号については、安心安全課にも改善の要望が複数寄せられており、県の地域振興局土木建築課に対し、対応の検討について文書で依頼しているところです。 (教育委員会) 県道35号は児童生徒の通学路にもなっており、スクールゾーン委員会において安全対策を協議するとともに、安心安全課を通じて県へ歩道設置等の要望を行っております。 今後も、児童の安全確保に向け、学校や関係機関等と更に連携しながら指導に努めてまいりたいと考えております。
		⑪ 平成5年に直木町に設置された農畜産物処理加工センターは、合併後、委託方式に移行して現在も続いているが、利用者が非常に少なく採算面で厳しいようだ。 26年度には農村交流施設ができるので、やはり、地元(=松元地域)で生産組織の拡大を進めていきたい。 今後、施設の面や人づくり、物づくりについてご指導いただきたい。	⑪ 農畜産物処理加工センターについては、現在、利用者の方が販売・加工を行っていただいていますし、地域産業の育成にも大変お力添えを賜っておりますが、利用者の方々が販売用加工を行っていることから、食品衛生法上、利活用の拡大はなかなか難しい現状があると思えます。 今後の有効活用については、地元の皆さんからのご意見もお聞きしながら、「農村交流館まつもと」との機能集約についても検討していきたいと思えます。	経済局	農畜産物処理加工センターの利活用の拡大につきましては、現状では難しい面がございますが、「農村交流館まつもと」との機能集約を含め検討していきたいと思えます。 なお、地域の農産物を利用した加工品の開発や商品化、人材育成につきましては、今後とも鹿児島地域農産加工ネットワークを通じて技術向上のための研修会や情報交換等の活動を支援してまいりたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月2日(火)19:00~20:00

場所:松元公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	東昌校区公民館運営審議会 男性	⑫ 県道35号については、合併時に地方主要道であると聞いているが、狭くて路肩にひびが入っており、これまでも整備を要望しているが進展がない。ひびが入った箇所は、県の方で仮舗装をされているが、2年も経てばまたひびが入る。 児童・生徒の通学路にもなっているので、県に強く要望してほしい。 また、東昌小学校の児童数は減少傾向にあり、道路が整備されないと住宅も増えない。農業振興地域の中でも、住宅ができやすい環境を考えていただきたい。	⑫ 県道35号については、私も再三ご要望を受けておりますし、実情もよく把握していますので、そういう立場から県へしっかりと要望しております。 県の地域振興局土木建築課からは、「早急に状況を調査し、今年度の工事の中で必要な対策を講じていきたい。」との考え方も示されていますが、一部の区間を整備するだけでは、全体を供用しない限り、整備が完了することになりませんので、今のお話を、再度県の方にも伝えていきたいと思っています。 鹿児島市域全体で人口は約60万5千人ですが、それぞれの地域で少子化が進んでおり、人口も減ってきております。松元地域では微増となっていますが、地域によって格差がございますので、人口を増やすための住宅環境の整備をしていかなければなりませんし、交通対策や道路の整備を進めていければと思います。 まずは、県道35号について、再度県の方に強く要望してまいります。	市民局 教育委員会	5-⑩の「検討結果、今後の方針等」に同じ。
7	松元地域まちづくりワークショップ 男性	⑬ 県茶業指導農場跡地に、松元の特産品であるお茶を市民にPRする資料館のようなもの(スペース)を設置してほしい。 茶業指導農場にあった資料や、松元地域の茶業農家に残っている昔のお茶の道具などを展示すれば、関心が高まるのではないかと。 茶市場に行くとお茶の種類毎の資料が置いてあるが、一番驚いたのは、出されたお茶が濃くておいしかった。お金を取ってもいいから、市民が気軽に立ち寄って、おいしいお茶が飲めるような場所があればいい。	⑬ 県の茶業指導農場跡地の都市農村交流施設の整備については、今、工事を進めていますので2年後には完成します。 ここは、都市と農村の交流を促進し、地域の活性化を図るため、農産物直売所や交流室、飲食施設、多目的広場等を整備することといたしております。 そういった中で、都市農村交流施設においては休憩・情報スペースを整備することとしておりますので、ここでは松元地域のお茶、市内産の特産物、グリーン・ツーリズムに関する展示・PRし、情報発信をしていければと思います。そして、来られた方々に松元産のお茶を提供できればと思います。 私も県外でトップセールスを行う際に、鹿児島市のお茶として松元のお茶を持参してPRしており、鹿児島の魅力のひとつであると考えていますので、都市農村交流施設については、そういう形で進めていければと思います。	経済局	市長回答のとおり
		⑭ 松元は山林が豊富にあるので、山林資源のバイオマス燃料への活用や、生ごみの堆肥化を進めてほしい。	⑭ 私は市長に就任以来、生ごみの堆肥化や山林のバイオマス利活用といった環境のまちづくりに取り組んでおります。 今、谷山の南部地域でバイオマスを活用できないか検討を進めており、市内全域から出る生ごみ等の中から再生エネルギーを取り出し、それを活用する取組を進めています。	環境局 経済局	(環境局) 生ごみ等のバイオマス利活用については、市長回答のとおり (経済局) 山林資源のバイオマスの利活用については、原料の調達や安定供給、採算性等の課題があることから、今後研究が必要であると考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月2日(火)19:00~20:00

場所:松元公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	春山校区公民館運営審議会 男性	<p>⑮ 合併後も農林事務所には技術者がいたが、2・3年前から本庁の農地整備課に統合されている。建設事務所には技術者がいるが、農道について相談をしても、「農地整備課の所管だ。」と言われる。 農林事務所に行っても、農道整備や修繕工事などの技術的なことが分からず、改めて農地整備課の職員と現場確認をすることになる。 現場で迅速に対応するため、松元農林事務所に土木技術者を配置してほしい。</p>	<p>⑮ 組織整備についてのご提言でしたが、これは合併した時点で、1市5町それぞれの地域のそれぞれの農地整備を所管する職員を一括して集約する方向で、これまで進めてきております。 農地整備課の技術職員についての懸案事項ということでお話をされましたが、それについては市の職員を含めて、そしてまた嘱託員という形で、地域をよく知っておられる方々を、農業の分野に配置しているものと考えております。 実際に、現状の対応が厳しいということであれば、組織整備の中で再検討していかなければならないと思いますが、松元地域に限らず他の地域もそういう現状があるかということは、また検証してみたいと思います。 やはり、色々な事故が起こらないよう、専門家がしっかりとした指導ができるように、行政の各組織は取り組む必要があると思います。それは全体的な組織整備ですので、松元地域に限らず、他の地域も同じような対応をしていかなければならないと思いますので、大きな観点から検討させてみたいと思います。</p>	経済局	<p>組織整備により農業土木業務が集約化されたことで、旧町域の案件を含めた業務を行う体制や意思決定等がこれまで以上にスムーズになり、効率的、効果的な農業土木行政が行われていると考えておりますが、各農林事務所における来庁者等への一次的な対応につきましては、さらに各農林事務所と連携を密にして、迅速な対応ができるように努めてまいります。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月2日(火)19:00~20:00

場所:松元公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	松元校区公民館運営審議会 男性	<p>⑯ 松元校区公民館では青少年育成部を設けて青少年教育に取り組んでいるが、私共の組織の力だけでは難しい。 是非、来年度からは、鹿児島市の目指す教育施策や体系についてご指導いただければ、もっと充実した公民館の運営ができるのではないかと考えている。 青少年教育について、市と一緒に進めていきたい。</p>	<p>⑯ 青少年の健全育成について、市と一体となって取り組んでいきたいとお話でございますが、私共にとってもありがたいことだと思います。 教育委員会を含めて、青少年教育や児童の育成については、所管部局がございますので、地域の皆さんと一緒に進んでいければと思います。</p>	教育委員会	<p>青少年教育に携わっている校区の方々を対象とした研修会(あいご主事研修会、校区青少年健全育成実行委員会委員長等研修会等)を実施し、青少年教育施策の説明や事例発表、情報交換等を行っているところでございます。 また、松元公民館におきまして、「青少年リーダー養成講座」や「親子アウトドア教室」、「ふるさとの不思議発見」等の講座を開設するとともに、家庭教育や青少年育成のあり方を地域社会全体で考えることを目的に、家庭教育研究会や青少年育成連絡研修会等を開催しております。 今後とも、各校区の青少年活動の更なる充実に向け、地域の皆様と連携を図ってまいりたいと考えております。</p>
		<p>⑰ 松元小学校は354名の児童がおり、児童安全確保委員会を中心に通学路の確保や安全点検を行っていて、歩道についても徐々に充実してきている。 年に数回、通学路の歩道を中心に草払いをしていただいているが、2~3メートル上の方は立木が生い茂っていて伐採ができていない。</p>	<p>⑰ 市道についての歩道であれば、私共もしっかりと対応していきたいと思っておりますし、また、立木等の草払い等については、現場を確認させていただきたいと思っております。</p>	建設局	<p>通行に支障となる市道敷内の立木等については、市で適宜伐採を行ってまいります。 また、民地からのみ出し樹木については所有者が周囲に支障が及ばないように管理するのが原則であることから、通行に支障となっている樹木につきましては市から所有者に剪定などをお願いしております。 なお、地主不在や高齢などの理由で所有者の方が剪定できない場合は、所有者と協議の上対応を図ってまいります。 今後も、所有者のご理解とご協力をいただきながら、適切な市道の管理に努めてまいります。</p>
		<p>⑱ 松元地域も高齢化が進む中で、各地域の水土里サークルを中心に、荒廃地を無くそうと取り組んでいる。限られた人員での活動であり、機械化をしたいのだが、農機具の価格が高く、資金が必要である。 産業振興を考えると、資金関係の補助をお願いしたい。いい提案があれば教えてほしい。</p>	<p>⑱ 農機具購入への助成等については、農業振興や育成という立場から、必要な取組ではなかろうかと思っておりますが、これも松元地域だけではなく、他の地域の農家の方々と一緒に取組が必要ですので、限られた予算の中でどういう形で支援ができるかということについて、検討していかなければならない課題であると思っております。 農業や水産業に従事する方々や中小企業の方々、色々な団体で機械器具等を扱っている方々が活動されている中で、どういった対策が必要かということは、全体的な対策として検討する大きな課題であると思っておりますので、市全域で対応していかなければいけないと思っております。ご提言として承っておきたいと思っております。</p>	経済局	<p>水土里サークル活動の支援事業においては、農機具等の購入費は支援の対象にはなりません。地域の方々から所有していただける農機具等を借用された場合、松元地域農地水環境保全協定運営委員会の定めた基準に基づいて賃料払いをしております。今後も同事業を有効に活用していただくようお願いします。 また、農業従事者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加などの課題があり、地域農業の維持、発展を図るため、県やJA等関係機関・団体と連携しながら地域の状況に応じた支援策について検討してまいりたいと考えております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月2日(火)19:00~20:00

場所:松元公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	春山校区公民館運営審議会 男性	<p>⑱ 喜入の中名校区で地域コミュニティ協議会が設立されたとの新聞報道があったが、今、校区公民館や地域公民館があり、色々な組織が乱立している。コミュニティ組織は必要だろうと思うが、十分に精査された上で各地区に振り分けていただきたい。 「それをしなさい。」という形で来ると、対応が難しい。</p>	<p>⑱ 今、課題としてお話されたことが、これから地域コミュニティ協議会を作る大きな目的です。 校区公民館運営審議会や校区社会福祉協議会、校区の安心安全に関する協議会など、色々な協議会があり、同じ人が一人何役も担っておられるということで、それを一括してスリム化し、地域の核となってまちづくり、地域づくりをしていただきたいという思いで、地域コミュニティ協議会を設立することといたしました。 中名校区が第1号という形で設立していただきましたが、今後は市域全体でこの協議会を作っていただければと思います。モデルとして中名校区で取り組んでいただいています。作る際にはこれまでの歴史があり、色々課題もあると思いますが、課題解決をしていただき、地域コミュニティ協議会というもののモデルを作っていただければ、それが全域に広がっていくと思っています。 私は、地域の力をしっかりと確立して、その地域の力が合わさって鹿児島市全体の力になっていくと思います。地域の発展が鹿児島市全体の活性化にも繋がっていくという考えのもとで地域コミュニティ協議会を作りましたので、そういった意味でも中名地域を含めて、松元地域でもそれぞれ地域コミュニティ協議会を設立していただければ大変ありがたいと思います。</p>	市民局	<p>中名校区で設立された、地域コミュニティ協議会は、既存の町内会をはじめ、校区公民館運営審議会、校区社会福祉協議会、あいご会など、それぞれの設置目的に応じた活動を行っている多様な地域コミュニティ組織がその役割と機能を生かしながら連携する組織であり、校区での地域づくりを進めていただく中心となる組織です。 中名校区などのモデル地域において2~3年程度かけて事業を実施し、評価・検証を行うとともに、順次拡大し、遅くとも30年度末までに市内全域で設立してまいりたいと考えております。</p>